

# 「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		財産管理事務費 [庁用自動車管理事務事業]						
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 6	財産管理費	事業番号	3
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)							
担当部署・課長名	総務管財 課			用地管財 係		課長名	宮田 智雄	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	行 - 2	
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現						総合計画書(ページ)	122	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 集中管理車及び総務管財課専用車(用地車を除く)			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 車両台数				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 適正な維持管理 確実かつ効率的な配車			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 集中管理自動車実稼働率(開庁日の10時と14時で実際に使用されている集中管理自動車台数/集中管理自動車台数)				
	③ そのために何をしましたか。 ①定期点検・車検の実施 ②修繕の実施 ③車両の更新 ④バスの運行委託及びタクシーの借上等を行い、各課の申請に基づきバス・タクシーを配車する。 ⑤燃料補給、洗車等の維持管理業務 ⑥自動車保険(任意)の加入・解約・請求手続きを行う(各課所管車両含む全庁用自動車)。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①定期点検・車検の実施台数 ②修繕件数 ③車両増加台数 ④使用件数 ⑤燃料補給回数 ⑥加入・解約台数				
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標
	対象指標	①の数値	土地㎡	30	31	31		
	成果指標	②の数値	%	44.3	50.0	50.0		
	目 標	②の目標値	%	100	100	100	100	100
			目標値設定の考え方 効率的な配車を目指すため100%とした。					
		活動指標	③の数値	①台	26	28	31	
				②件	8	10	9	
				③台	4	3	0	
				④件	73	10	10	
				⑤回	397	279	305	
				⑥件	84	85	84	
3 経費	事業費(実績)		円	25,661,417	20,910,283	6,215,867	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源	円	16,558,417	8,334,283	6,215,867		
		特定財源(国・都・他)	円	9,103,000	12,576,000	0		
		(うち受益者負担)	円	0	0	0		
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.3	0.3	0.3		
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0		
職員人件費(再任用以外)		円	2,493,000	2,514,000	2,475,000			
職員人件費(再任用)		円	0	0	0			
事業費+人件費		円	28,154,417	23,424,283	8,690,867			
4 環境変化等	(1) 開始年度		57 年度以前					
	(2) 環境の変化		庁用自動車の効率的な運用のため、自動車の集中管理を開始したことによる。 各課の事務事業を円滑に遂行する手段として、集中管理車及び総務管財課専用車を適正に管理し、効率的に運用を行うことが目的である。					

